

矢祭子ども司書講座受講生のメッセージ

私は子ども司書講座をふりかえって学んだ事、楽しかったことは色々あります。その中でも、「本のカバーかけ」と「やってみよう読み語り」の講座が特に楽しかったです。

まず、「やってみよう読み語り」の講座では、選んだ本をただ読むのではなく、聞いている人に分かってもらえるように読むことを学びました。私はゆっくりとそしてはっきりと大きな声で読むように気をつけました。手づくり絵本コンサートでは、私たちの読み聞かせでたくさんの人たちに「よくばりじいさんのかみさま」を聞いてもらうことができました。みんなで何回も練習をしたので成功してうれしかったです。

次に、「本のカバーかけ」の講座では、図書館では本を汚さないためにカバーをかけることを学びました。講座の時は持って行った自分の本にカバーをかけました。本の大きさに合わせてカバーを切って、本とカバーに空気が入らないようにハンカチを使っていねいにカバーをかけました。自分の本に上手にカバーをかけることができたので、とてもうれしかったです。

最後に、私はこの一年間子ども司書講座を受けて、知らなかった図書館のことをいっぱい知ることができました。学んだ事は忘れずに今後生かしていきたいです。
(4年生 ゆうな)

わたしは四年生になって子ども司書を始めました。その中で一番楽しかった講座は、貸出しと返却です。図書館クイズをやったり、バーコードを読みとる機械で貸し出しをしました。楽しかったです。

俳句スクールでは、外を散歩して俳句を作りました。作るのはむずかしかったけど、勉強になりました。学校の授業で俳句を作るときも役立ちます。だから、参加して良かったなと思いました。

わたしは、一年間子ども司書をやって、図書館のことや本のことをたくさん知りました。特に、冬休みの間にやった図書館実習では、図書館で働いている人がやっていることを体験しました。本を区別して、閉架書庫にしまうという作業をしました。とても大変だったけど最後までがんばったら、片づけることができました。

これからも子ども司書で学んだことを活かして、学校や家でもがんばっていききたいです。
(4年生 ゆうき)